



疾風迅雷の勢いで駆け抜ける

BIG BOSS 若狭孝太郎

土で汚れた体操服。それは、全力で200mを駆け抜けたあと、グラウンドに倒れ込んだ証。800mリレーの着順発表とプログラム終了のアナウンスで、汚れた体操服の選手が立ち上がり、よろよろと歩き出す。それがスローモーションのような映像で、映画を観ているような感覚が生まれる。退場門のあたりで、応援席テントから拍手が始まる。「ああ、いいなあ」と幸せな気持ちになる…。

文化鑑賞会から2週間。気がつけば空は高くなり、うろこ雲が敷き詰められています。季節は「豊の秋」となりました。稲がしっかりと実をつけ、日差しに輝く稲穂はまさに黄金色です。残念ながら三中の周りには田が少ないのですが、秋の風景の1つとして心を落ち着かせてくれるのです。47回目の体育祭は、そんな秋の空気を感じる中で、「疾風迅雷」のスローガンとともに行われました。

私は常々、行事や部活動での試合や競技など「勝ち・負け」があるものについては、「勝ちにこだわる」ことが大切だと思っています。「勝ちにこだわる」ことは「勝利至上主義」や「敗者への批判」などのリスクがあると指摘する人もいるかも知れません。だからこそ、「正しく」こだわって欲しいと思っています。一人ひとりが「最後まで諦めない」「全力を出し切る」というプロセスこそが、勝ちにこだわる正しい姿勢を表しているのではないのでしょうか。「勝ちにこだわる」とは、リレーの前走者たちの頑張りを受け止めて、自分の全力をつなげていくこと、それまでのチームの合計点数に自分の全力を重ねていくことだと思います。そうして、クラスや学年は強い集団になっていくと思うのです。

最後のプログラムである「クラス対抗全員リレー」で3年生が入場してくるときに、大きな拍手が起こりました。とても自然に。そしてそれは体育祭を締めくくるにふさわしい緊張感を作り出し、会場にいる全員が目指す中で始まりました。競技中の他学年からの声援の大きさは、同じ色のTシャツからくる一体感がそうさせるのか…。そしてそれは、諦めない走り方や見事なバトンパスを見るたびにさらに大きくなった気がしました。3年生の正しい「勝ちへのこだわり」が1・2年生へ間違いなく伝わりました。伝えるとは、つなげるということ。三中の素晴らしい伝統と新しい力強さが後輩たちへとしっかりバトンパスされた瞬間だったのです。

10月が始まりました。正しく勝ちにこだわって、2学期を疾風迅雷の勢いで駆け抜けたとき、皆さん一人ひとりに黄金色のメダルがちゃんと届くはず。です。

10月の予定

給食

11月の予定

給食

1日	土			1日	火	2年合唱コンクール	○
2日	日			2日	水	3年合唱コンクール、第2回進路説明会	○
3日	月	生徒会委員会	○	3日	木	文化の日	
4日	火	体育祭予備日	○	4日	金	全体合唱コンクール	○
5日	水	朝礼	○	5日	土		
6日	木		○	6日	日		
7日	金	英検（3年）	○	7日	月	生徒会委員会	○
8日	土			8日	火	連合音楽会	○
9日	日			9日	水	第三回実力考査（3年）	○
10日	月			10日	木	朝礼	○
11日	火		○	11日	金	公開研究授業	
12日	水		○	12日	土		
13日	木	中間考査		13日	日		
14日	金	中間考査		14日	月	生徒会委員会	○
15日	土			15日	火	助産師講演（3年）	○
16日	日			16日	水		○
17日	月	後期クラブ編成	○	17日	木		○
18日	火		○	18日	金		○
19日	水	後期生徒会役員選挙	○	19日	土		
20日	木		○	20日	日		
21日	金		○	21日	月	進路・アルバム写真（3年）	○
22日	土			22日	火		○
23日	日			23日	水	勤労感謝の日	
24日	月	生徒会委員会	○	24日	木	期末考査	
25日	火		○	25日	金	期末考査	
26日	水		○	26日	土		
27日	木		○	27日	日		
28日	金		○	28日	月	期末考査	
29日	土			29日	火		○
30日	日			30日	水		○
31日	月	1年生合唱コンクール 生徒会委員会	○				

体育館工事のお知らせ

10月3日（月）体育館エアコン設置工事が始まります。体育館内の工事は二期に分けて計画しています。第1期工事が10月3日～10月13日、第2期工事は11月7日～11月27日、体育館が使用不可となります。

また、登下校の時間帯はありませんが、工事関係の車両の出入りが増えます。大型車両には誘導員がつきますが、車両の通行を見かけたら注意してください。

最終下校時刻について

秋の深まりとともに日没時刻が徐々に早まってきています。中間考査から期末考査までの間、最終下校時刻が17:30となります。（テスト一週間前は17:00です。）

また、期末考査後から冬休み終了までは17:00と最終下校時刻が早まります。ご確認ください。

【1年生】

つながり 思いやり 自分と仲間を高め合おう

文化鑑賞会では、学年みんなで初めての舞台発表「万博大発見!」に挑戦しました。役者、コーラス、ピアノ、スライド、背景、照明、展示のすべての係が自分の役割を頑張ったことで素敵な劇に仕上がりました。6月に実施した、「校外学習での学び」と「仲間と取り組んだこと」を劇中で見事に表現しました。特に、役者とコーラスは、舞台上のスクリーンとの掛け合いが見物でした。どの係も本番に向けて、遅くまで残って準備をしたり、なかなか思い通りに進まないこともありました。ですが、学年みんなで力を合わせ、一つの作品を作り上げたこの経験は今後の大きな糧になるでしょう。

先日の体育祭も、個人の頑張りが、クラスや学年を超えた縦割り種目で発揮されていました。評議委員が発案した応援グッズ制作、朝のリレーの練習、事前準備と当日の体育祭を運営してくれた各委員会のみなさんも、とても頑張っていました。来年の体育祭では、2年生として、三中を引っ張っていく存在になってくれることを期待しています。

さて、次は、中間考査と合唱コンクールが待っています。今回の行事で得た経験と成功を、今後の日々の学校生活に活かし、次の行事でも一層、仲間と高め合える学年集団に育っていつてくれることを楽しみにしています。

【2年生】

9月の文化鑑賞会で、2年生は11日に行った職種体験のまとめのプレゼンテーションの内容から各グループが取り組んだポイントを文や写真、イラストなどにして展示をしました。また、同時に動画で職種体験の概要を紹介しました。どのグループも工夫を凝らし、充実した内容で丁寧にまとめていて、がんばりが見えました。

体育祭では競技でのフルパワーはもちろんのこと、1,3年生と協力して精一杯の応援をして大いに盛り上がり、充実した1日になりました。職種体験、文化鑑賞会、体育祭とたくさんのがんばりを見せてくれました。

【3年生】 9月の文化鑑賞会。中学校で初めて Live での舞台鑑賞。舞台発表の内容は、全員で取り組む『群読と合唱』。群読発表では、群読グループ、背景制作、照明係と分担を決め、工夫を凝らした発表に取り組みました。ソロやグループでの言葉、そして全員の言葉は、力強く、しっかり体育館の後方まで届き、聴く人の心を揺さぶるものでした。続いて、合唱。迫力のある音量と美しいハーモニーを披露することができました。当日まで暑い体育館で“へとへと”になるまで練習を繰り返した成果がでました。そして、中学校最後の体育祭。どのクラスも優勝を目指して競技や応援に取り組む“熱い”姿がとても印象的でした！三年全員リレーでは、一人ひとり、自分の持てる力を振り絞って走る姿に三中生全員が盛り上がりました。

“3年生みんな”が輝く場面がたくさんあった9月でした。

【授業力向上委員会】

文化鑑賞会に体育祭と大きな行事を学校として、成功させることができました。その行事の中で例年よりも印象に残ったのが、「生徒の主体性」です。本番までに、周りの見えないところで努力を重ねる生徒の姿を多く見ました。行事と学習(授業)は大きく関係します。今年の授業力向上委員会の目標のキーワードも主体性です。今後の授業で、生徒が主体的に活動することにより、今まで以上に良い授業が展開していくことを期待しています。

【生徒会の取り組み】

9月は文化鑑賞会に体育祭と行事が盛りだくさんでした。その中でも文化鑑賞会では、今年からボリュームアップしたステージ部で文化委員が司会をみごとに務めてくれました。体育大会では、評議委員がチームの一致団結を図り、クラスTシャツと応援グッズの作成を、体育委員は生徒会種目サスケの内容の構築を、文化委員は競技備品と実況を、生活委員は安全に行われるための風紀点検を、美化委員は当日の記録や審判を行いました。また、準備や片付けでも各委員会朝早くから手伝ってくれたり、前期の集大成のこの1ヶ月間は、本当に一番へとへとになったのでは？と思います。また、今月は後期生徒会選挙及び委員係決めがあります。各々が新しいポジションで新しい風を吹かせて活躍していることを期待しています。

【生徒指導より】

二学期も一カ月が経ちました。文化鑑賞会の準備では生徒たちが体育館のシートを敷いたり、椅子を並べたりしてくれました。また体育祭前日にもテントを設置したり備品を運んだりしてくれました。どの役割の生徒も積極的に動いてくれたおかげで、あっという間に準備ができました。ありがとう。

体育祭の学級対抗リレーの練習のために各学年朝練習に励んでいた姿は「クラスのために」とか「みんなで何をするのが楽しい」などの気持ちの表れてたくさん生徒が集まり練習をしていました。バトンの渡し方や走順の確認など確かめていましたね。

体育祭では、競技に一生懸命取り組む生徒・「頑張れ～」と応援する生徒・クラス旗を振って応援する生徒。団結した姿はこれ以上ない達成感だったことでしょう。

この培ってきたクラス・学年の絆を次は合唱コンクールで生かしてほしいです。期待しています。

【道徳科より】

1年生 2学期は、最初から担任の先生たちが各クラスを順番にローテーションしながら道徳の授業を進めています。「近くにいた友」では互いに信頼し高め合う友情について、「むかで競争」では協力し合うことについて、「富士山から変えていく」では、意識して行動することについて、「疾走、自転車ライダー」では安全や危機管理の大切さについてそれぞれの教材を通して、考えを深めていました。

担当の先生や教材によって、生徒へのアプローチの仕方はさまざまですが、共通して、自分の意見と仲間の意見を大切にしています。その中で自分自身の考えを深めながら己の「心」を耕している姿が印象的でした。人間のもつ弱さや甘えとも向き合いながら、より良く生きていくためには…。先生の発行する道徳通心(信)からより多くの仲間の考えに触れて、これからも彩りのよい実が豊かに育つように心を耕して行ってほしいです。

2年生 8月、9月はそれぞれ、以下について学習しました。

○森林伐採で土地が砂漠化し、海が荒廃した北海道えりも町をコンブ漁師の常雄さんらが海とふるさとの再生に取り組めます。自然界のつながりの中で生かされている人間が自然を守るためにできることは何かを考えました。

○海外派遣性としてニュージーランドにホームステイしていた知子が、自国文化への理解を深めていく過程を描いた題材を読み、主人公に共感しながら、日本(日本人)についての学びや表現方法について考えました。

○井上康生さんは柔道世界一を目前に挫折を味わうが、母がのこしてくれた言葉で初心に戻り、粘り強く練習に励むことで目標を達成します。目標達成のために努力し、困難を乗り越えたりすることの意義について考えました。

○学級のみなみに同調して幼なじみのヨシトを遠ざけてしまった「僕」は、ヨシトの良さや自分の弱さに気づき、正義を貫く決意をします。その時、ヨシトのことを嘲る女子に対して僕が感じた「腹の底に生まれた何か熱い魂」とは、…?

3年生

3年生では、命の大切さに考えた「臓器ドナー」、家族愛について考えた「一冊のノート」、働くことについて考えた「あるレジ打ちの女性」、郷土の伝統と文化の尊重について考えた「稲むらの火」、真理の探究について考えた「iPS細胞で難病を治したい」などの題材を通してクラスメイトと話し合い、交流をしました。